

オーストラリア金融政策（2022年10月）

利上げ合戦が沈静化に向かう契機となるか

2022年10月4日

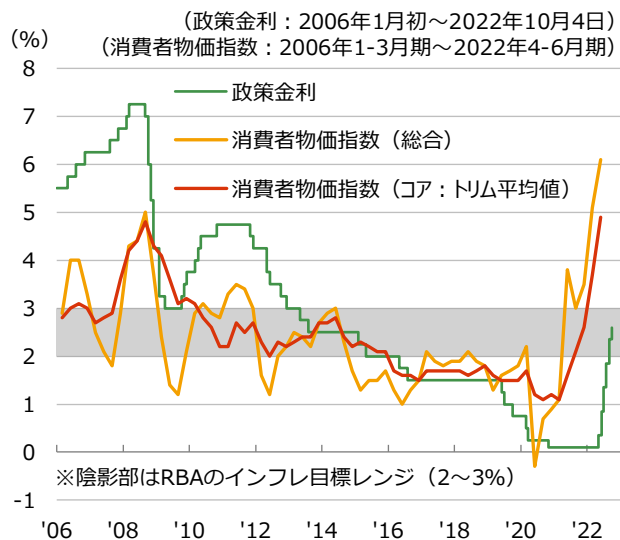
これまでの急速な金融引き締め効果を見極めるために利上げ幅を縮小

RBA（豪州準備銀行）は10月4日（現地、以下同様）の理事会で、政策金利を2.35%から2.60%に引き上げることを決定しました。利上げは今年5月から6会合連続ですが、利上げ幅は過去4回（6～9月）の0.5%ポイントから0.25%ポイントに縮小されました。大半の市場参加者は0.5%ポイントの利上げを予想していたため、発表直後は金利低下・通貨安の反応となりました。

RBAは声明文で、「短期間で急速に政策金利を引き上げてきた。これを反映し、インフレ率や経済成長率の見通しを評価した上で、0.25%ポイントの利上げを決定した」と説明しています。また、今後数カ月でインフレ率が更に加速すると予想しているほか、労働市場が非常にひっ迫しているとの認識を示しています。ただし、世界経済の成長鈍化に加え、大幅な利上げによる国内での消費者心理の悪化や住宅市場の減速などが、時間差で豪州経済全体に波及することを懸念しているようです。インフレ目標の達成に向けてRBAは今後も利上げを続ける方針ですが、0.25%ポイントずつの緩やかなペースになると思われます。

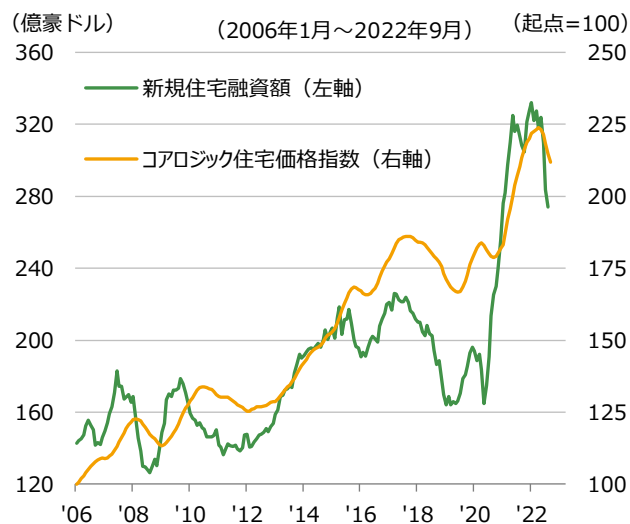
10月3日、国連貿易開発会議は、先進国における過度な利上げが脆弱な発展途上国にダメージを与えることを警告を鳴らし、政策の軌道修正を求めました。これが今回のRBAの決定に直接的な影響を及ぼしたとは思われませんが、RBAの利上げ幅縮小をきっかけに、最近の利上げ合戦が沈静化に向かえば、リスク資産にとってはポジティブに働くと考えられます。

豪州の政策金利と消費者物価指数



※政策金利は決定日ベース ※消費者物価指数は前年同期比
（出所）ブルームバーグ、豪州統計局

豪州の新規住宅融資額と住宅価格指数



※新規住宅融資額は2022年8月まで
（出所）豪州統計局、ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management